

Ⅱ-4 屋上緑化調査

1. 屋上緑化の現況

(1) 区全体の現況

	(H16)	(H26)
○屋上緑化面積	8,894 m ²	→ 37,235 m ²
○屋上緑化率	0.4%	→ 1.8%

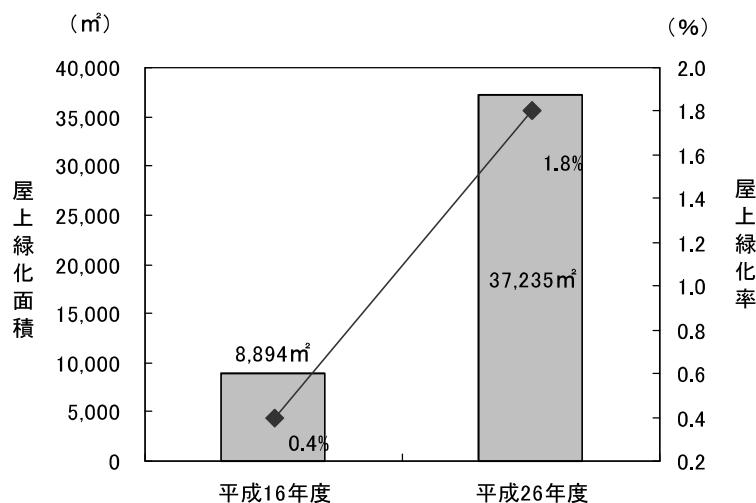
緑化可能である水平な屋上の面積（以下、屋上緑化可能面積とする）に対する屋上緑化面積の割合（以下、屋上緑化率とする）と経年変化を表Ⅱ-4-1、図Ⅱ-4-1に、屋上緑化分布図を図Ⅱ-4-2に示す。今回調査の空中写真で判読された屋上緑化面積（バルコニー等も含む）は37,235 m²である。また、屋上緑化可能面積は2,052,579 m²で、屋上緑化率は1.8%となっている。

前回調査（2004（平成16）年度）の屋上緑化面積は8,894 m²であったが、今回調査ではおよそ28,341 m²増加して37,235 m²と、およそ4.2倍になった。

また、前回調査の屋上緑化率は0.4%だったので、今回は約4倍以上になっている。

表Ⅱ-4-1 屋上緑化の経年変化

	平成16年度調査	平成26年度調査	増減
屋上緑化面積(m ²)	8,894	37,235	28,341
屋上緑化可能面積(m ²)	2,269,206	2,052,579	-216,627
屋上緑化率(%)	0.4	1.8	1.4



図Ⅱ-4-1 屋上緑化の経年変化

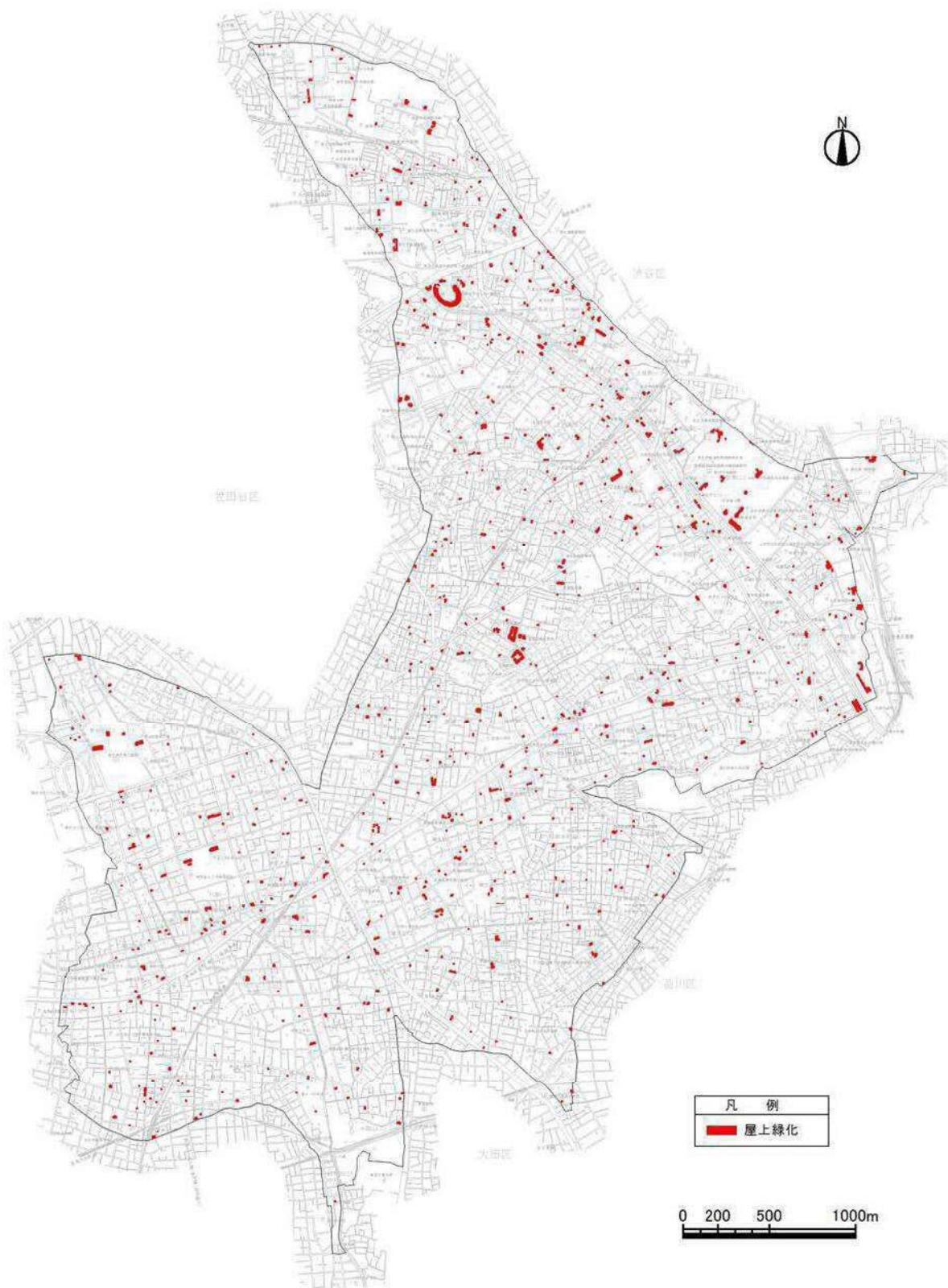


図 II-4-2 屋上緑化分布図

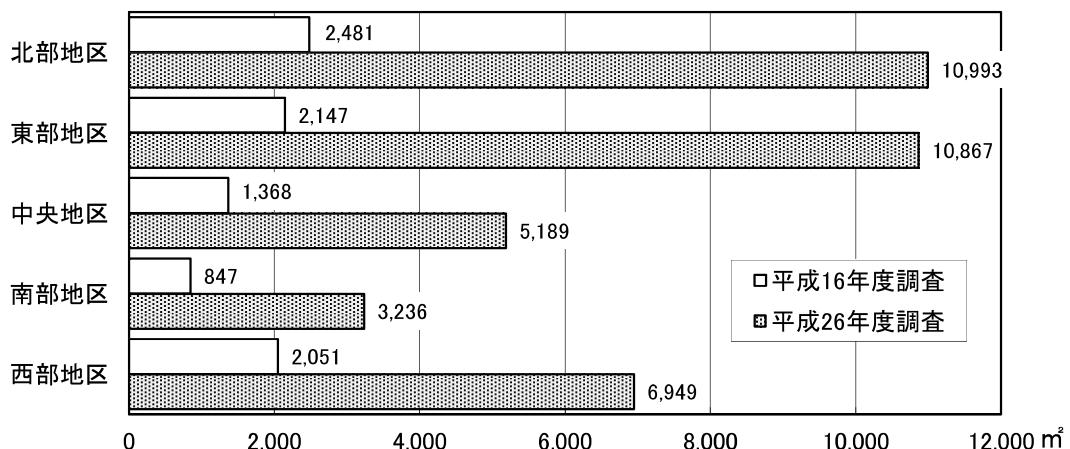
(2) 地区・住区別の現況

	(H16)	(H26)
○屋上緑化面積の大きい地区	北部地区	→ 北部地区
小さい地区	南部地区	→ 南部地区
○屋上緑化面積の大きい住区	菅刈住区	→ 菅刈住区
小さい住区	中根住区	→ 大岡山西住区

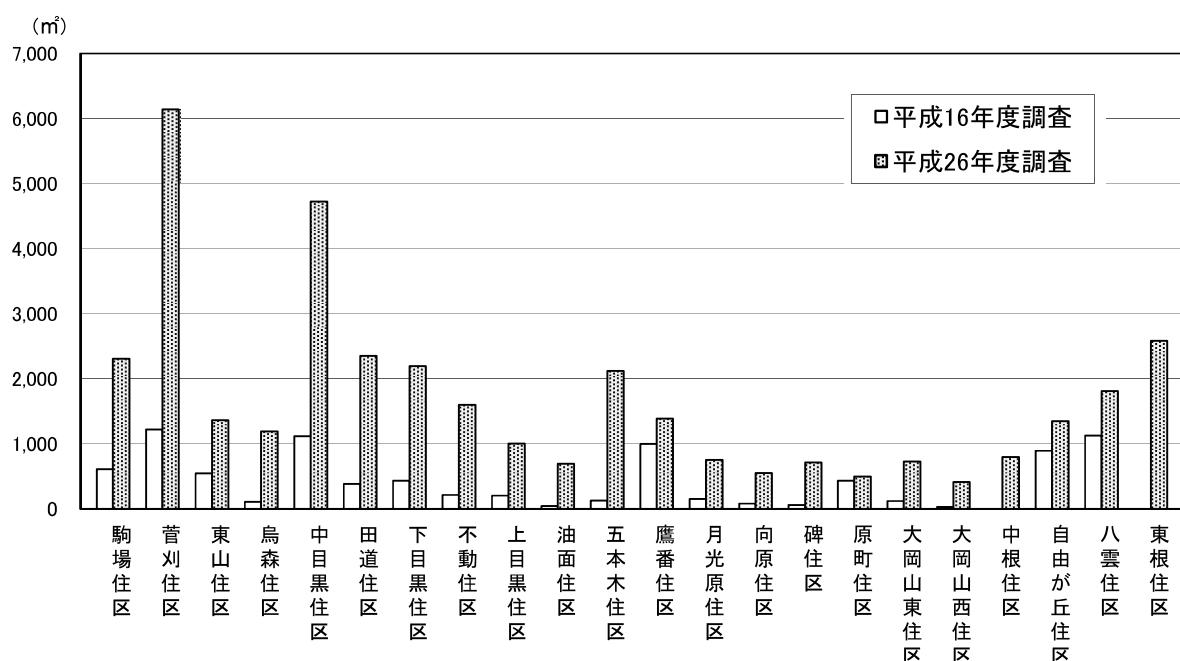
地区、住区別の屋上緑化面積の経年変化を図II-4-3、図II-4-4に示す。

地区別に見ると、全ての地区で緑化面積が前回調査を上回っている。

住区別においても、全ての住区で前回調査を上回っており、特に菅刈、中目黒住区の屋上緑化面積が大きく、大岡山西住区の屋上緑化面積がもっとも小さい。



図II-4-3 地区別の屋上緑化面積と経年変化



図II-4-4 住区別の屋上緑化面積と経年変化

(3) 用途地域別の現況

	(H16)	(H26)
○屋上緑化面積の大きい用途地域	商業地域	→ 第一種低層住居専用地域
小さい用途地域	第二種中高層住居専用地域	→ 近隣商業地域

用途地域別の屋上緑化面積の現況と経年変化について図 II-4-5 に示す。

第一種低層住居専用地域、商業地域、第一種中高層住居専用地域で、屋上緑化面積が特に大きい。一方、近隣商業地域の屋上緑化面積がもっとも少なくなっている。

前回調査と比較すると、全ての用途地域において前回より屋上緑化面積が大幅に増加しており、特に住居系での増加が顕著である。

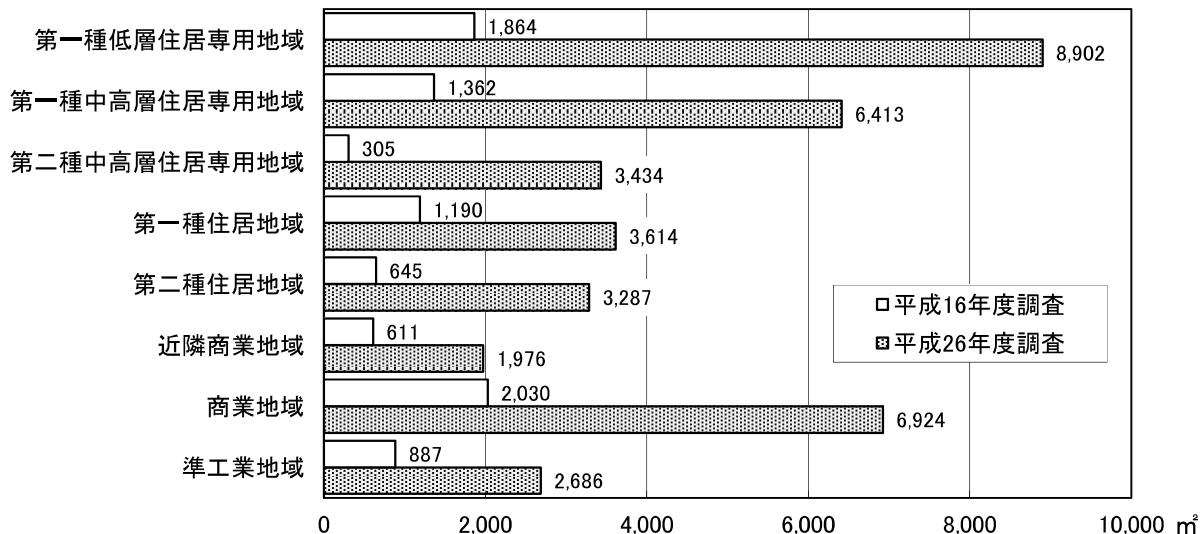
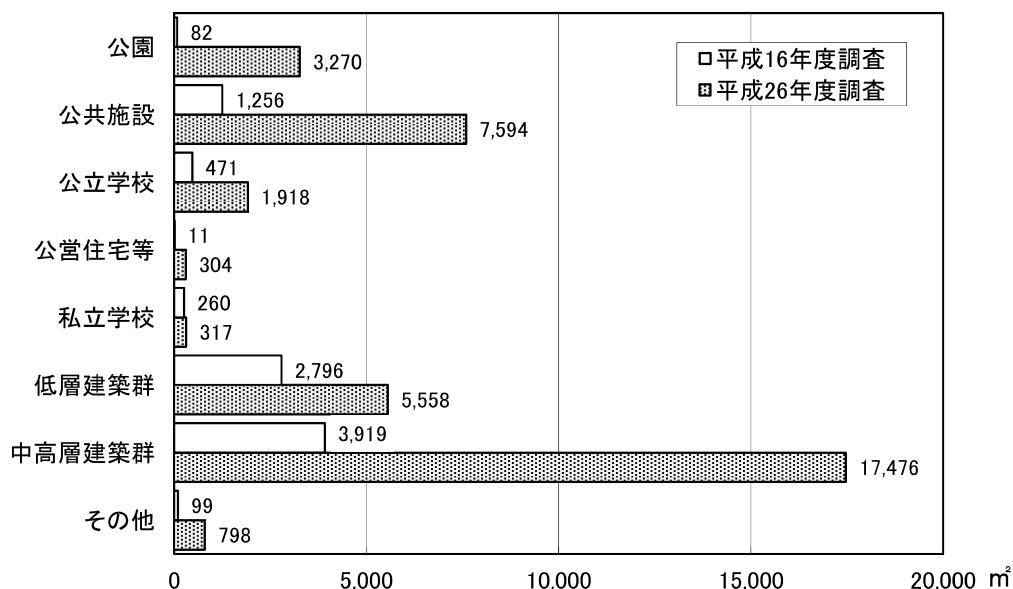


図 II-4-5 用途地域別の屋上緑化面積と経年変化

(4) 土地利用区分別の現況

	(H16)	(H26)
○屋上緑化面積の大きい土地利用区分	中高層建築群	→ 中高層建築群
小さい土地利用区分	公営住宅等	→ 公営住宅等

土地利用区分別の屋上緑化面積の現況と経年変化を図Ⅱ-4-6に示す。中高層建築群において屋上緑化面積がもっとも大きく、公営住宅等が小さい。前回調査と比較すると、全ての土地利用区分において前回より屋上緑化面積が増加している。



図Ⅱ-4-6 土地利用別屋上緑化面積と経年変化

2. 屋上緑化の変化要因

屋上緑化の変化の要因として、目黒区の条例により一定規模以上の建物の新築時等に屋上緑化が義務化されたこと、公共施設等での屋上緑化が増加していること、目黒区が2002（平成14）年度より屋上緑化助成制度を開始したこと（表Ⅱ-4-2）、近年の都市部における*¹ヒートアイランド現象が社会的な関心事となり、屋上緑化に積極的に取り組む区民・事業者が増えていること等が考えられる。

表Ⅱ-4-2 屋上緑化の助成実績

みどりのまちなみ助成実績	(件数)										合計
	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	
屋上緑化	13	24	17	15	24	23	14	26	9	5	170

*¹ ヒートアイランド：資料編 P.164 用語集(14)参照

3. 屋上緑化の事例

今回調査した屋上緑化の中から特徴のある事例を紹介する。(表Ⅱ-4-3)

表Ⅱ-4-3 屋上緑化事例

	<p>事例1. 目黒区総合庁舎本館（目黒十五庭） 目黒区では、屋上・壁面緑化助成制度などの施策に取り組んでおり、目黒区総合庁舎屋上に屋上緑化見本庭園『目黒十五（とうご）庭』を整備している。</p>
	<p>事例2. 目黒天空庭園 大橋ジャンクションの屋上緑化。大都市における都会のオアシスを創造する緑化技術の発信の場として先導的な役割を果たしている。</p>
	<p>事例3. 目黒本町の個人住宅（10m²程度） 富士山を望みながら家族だんらんの場となっている。</p>
	<p>事例4. 洗足の共同住宅（20m²程度） みどりの中に住んでいるかのような階層的なみどりを形成している。</p>
	<p>事例5. 柿の木坂の個人住宅（10m²程度） 気持ちの良い青空の下、趣味の花づくりを1年中楽しめる。</p>